

『労働生産性向上の取り組み事例集』 ～働き方改革の深化と企業間連携の強化～ の発行について

本件に関するお問合せ先
愛知県経営者協会【内線 550】
会員サービス部 梶原
Tel 052-221-1931 / Fax 052-221-1935

愛知県経営者協会（会長：大島 卓、日本ガイシ（株）代表取締役会長）は、『労働生産性向上の取り組み事例集』を発行しました。

【発行の背景と目的】

急速な人口減少による労働力不足、DXやGXの推進に伴う産業構造の変革が進む中、企業が安定的かつ持続的な成長を実現していくためには、働き方改革を継続・深化させ、「労働生産性の向上」を図っていくことが不可欠となります。

労働生産性の向上を図るには、「フェーズⅠ」として「インプット（労働投入）を効率化」する働き方改革を継続しながら、「フェーズⅡ」として社員のエンゲージメント※1の向上等により、「アウトプット（付加価値）の最大化」を図る必要があります。

さらに今後は、自社内での取り組みに加え、「企業間の連携」を図り、サプライチェーン全体での付加価値の向上と共有により「労働生産性」を高めていくことが重要になります。

本事例集は、労働生産性の向上につながる取り組みを下記の通りに分類し、それぞれに対応した9つの企業事例を紹介することで、各企業における、今後の取り組みの参考として活用していただくことを目的に作成しました。

【本事例集について】

タイトル：「労働生産性向上の取り組み事例集」～働き方改革の深化と企業間連携の強化～

仕様：A4サイズ・フルカラー・全22ページ

概要：下表のとおり

	【企業内の取り組み】	【企業間の連携】
働き方改革 フェーズⅠ (労働投入の 効率化)	1. デジタル技術の活用による業務の効率化 (1) RPA※2の導入による業務の効率化 ①株式会社古川電機製作所 ②太田油脂株式会社 (2) DXによる製造ライン、及び間接業務の効率化 ③DMG森精機株式会社 ④久野金属工業株式会社	3. サプライチェーン全体の付加価値の向上と共有 ⑦大同特殊鋼株式会社 ⑧東邦ガスネットワーク株式会社 ⑨東海旅客鉄道株式会社(株)
働き方改革 フェーズⅡ (付加価値 の最大化)	2. エンゲージメントの向上による付加価値の最大化 (1) 健康経営の導入 ⑤大橋運輸株式会社 (2) エンゲージメントの可視化 ⑥株式会社アイシン	

販売価格：会員企業 無料 / 非会員企業 1,100円（税込み価格）

購入方法：当会ホームページ（<https://www.aikeikyo.com/contact/>）の「お問い合わせ」から、冊子名をご連絡ください。ダウンロード用のURLと請求書を送付します。

（参考 用語の説明）

※1 エンゲージメントとは（一般社団法人日本経済団体連合会の定義）

働き手にとって組織目標の達成と自らの成長の方向性が一致し、「働きがい」や「働きやすさ」を感じられる職場環境の中で、組織や仕事に主体的に貢献する意欲や姿勢を表す概念。

※2 RPA（Robotic Process Automation）とは

入力作業等の定型業務をソフトウェア型のロボットが代行する技術で、パターン化されている定型業務（単純業務）を自動化することによって、労働量の削減と成果量の増大を同時に実現することができ、広い範囲の業務に適用できる。

以上